

## 「院内発生褥瘡におけるリスク因子、予防対策効果の有用性についての検討」 へご協力をお願い

### 一対象期間中に当院にて入院加療を受けた患者さんへ 【通常診療情報の調査研究への使用のお願い】

高崎総合医療センター形成外科では、以下の臨床研究を行っております。  
内容をご確認ください。

#### （1）研究の概要

##### 【研究の背景】

褥瘡（床ずれ）とは、体のある部位が長時間圧迫されたことにより、その部位の血流がなくなった結果、組織が損傷されることです。院内発生褥瘡は、入院中に発生する褥瘡の事を指し、患者さんの生活の質（QOL）を低下させ、入院日数の長期化や医療費の増大に繋がるといわれています。そのため、院内発生褥瘡のリスク因子を特定し、高リスク患者に対する早期のリスク評価と予防措置を行うことが重要と考えられます。

##### 【研究の意義】

院内発生褥瘡は、患者さんに追加の疼痛や不安を与え、負担を増加に繋がります。そのため、院内発生褥瘡の危険因子を特定し、効果的な予防策を行うことは、患者さんの生活の質（QOL）を良くするために重要と考えられます。

##### 【研究の目的】

この研究では、当院で入院加療を行った患者さんにおいて、入院中に発生した褥瘡の危険因子の特定を目的とします。また、当院では手術室において皮膚保護用のドレッシング材を用いた褥瘡予防を行っており、その有用性を評価することを目的とします。

#### （2）研究の方法

- ① この調査研究は高崎総合医療センター倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。  
研究期間：研究機関長許可日 ～ 2026年3月31日まで  
対象調査期間：2021年4月1日 ～ 2024年6月30日まで
- ② 今回の調査研究では上記の対象調査期間中に当院で入院加療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを集計し、入院中に発生した褥瘡の危険因子について調査します。

情報：研究対象者識別コード、生年月、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、PS（ECOG）、身長、体重、手術方法、手術時間、出血量、輸血の有無、手術体位、COVID-19感染の有無、褥瘡発生の有無、褥瘡の重症度、シリコンフォームドレッシング使用の有無  
血液生化学検査（総蛋白値、アルブミン値、ヘモグロビン値）

- ③ 通常の診療で得られたデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- ④ 使用するデータは個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- ⑤ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- ⑥ 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は高崎総合医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。
- ⑦ この調査研究は、形成外科の研究費を使用します。また特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の連絡先まで連絡ください。その場合でも同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

**【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

高崎総合医療センター 形成外科 医長

研究責任者：中村 英玄

T E L : 027-322-5901(代) F A X : 027-327-1826(代)